



マスコミ青山

会報

Nov.2012 No.33

お正月恒例の箱根駅伝に近年青学大の名前をよく聞くようになりました。それは大学がスポーツ振興に力を入れはじめたからです。なかでも特に陸上競技部では長距離ブロックの監督に原晋氏を招聘してから破竹の勢いで伸びてきています。さっそく編集部では陸上競技部の町田寮を訪ね、原監督にいろいろお聞きしました。今年の総会の講師としてお招きしますが、それに先駆けてまずは誌上でその一部をご紹介します。

「青学大陸上競技部長距離ブロックの監督を引き受けるきっかけからお聞かせください。」

大学が16年4月から青山のスポーツ振興をしていく中で、外部から指導者を呼ぼうということで声を掛けていただきました。私自身の動機といたしましては美業時代に、陸上に心残りを残したままケガでキャリアを終えてしまっていました。青学に監督として声をかけていただいた時は、サラリーマンとしてそれなりの結果は残していましたが、陸上という舞台で大きき言葉ば名譽回復のチャレンジをしてみたかった、というのがありましたね。

「監督に就任するうえで目標はありましたか。」

学校からは「なんとかして箱根に出てください」とは言われました。当時の陸上部は門限は守らないなど私生活が乱れていました。だから最初は一歩ずつ、選手の私生活の改善を第一目標にしました。私のモットーとしても、規則正しい私生活が成長の土壌となつて強いチームになつていくというものがありましたから。

■青学大陸上競技部 長距離ブロック 原晋監督に聞く

箱根駅伝に賭ける 青学大の雄姿



—青学大の箱根駅伝成績—

■2010年総合8位
(11時間21分25秒)



■2011年総合9位
(11時間13分20秒)



■2012年総合5位
(11時間08分46秒)

「まずは私生活から改善してということですか。」

そうですね。陸上というものはパンツとシャツの裸一貫、自分ひとりで走るものなので、精神面の強靭さが非常に重要なんです。走っている間は基本的に孤独との戦いみたいなところがあつて、だれも助けてくれない。技術面も監督の采配は必要ですけど、最終的な強さは精神面にあります。就任して3年目で箱根駅伝予選16位という沈んだ結果になったときも、規則正しい生活とそれに伴う精神面の充実を着々と根付いているという実感がありました。周りの皆さんは「大変だ、大変だ」と大騒ぎになっていましたけど、私自身としてはこのときの16位も先の見える16位でした。

「陸上は己との戦いということですね。そうです。気持ちの面が大きいですよ。箱根駅伝だって華やかに見えますけど実際やっていることは地道です。」

「私たちは華やかな面しか見ていない
ですからね。」

選手たちは毎日朝5時に起きて夜は10時に寝る、一般の学生だったら考えられませんが。朝5時に寝ることはあつても(笑)それで辞めてしまいう子もいました。それでも練習量という点では箱根駅伝に毎年出場するような強豪チームの中では、中の中くらいのもんです。

「大学によってチームカラーがあると思いますが、青学陸上部のカラーを教えてください。」

「第一に明るく元気があるところでしょね。これは大学の校風自体でもあると思います。あとは、寮での共同生活を通じてアットホームなところですよ。この2つは陸上をやる上での我々の強みですね。反対に勝負に必要なある意味のぎすぎす感が足りないかな。優勝を目指す以上、ぎすぎす感や緊張感は成長する上で重要です。」



(2012年箱根駅伝5位でゴールインの雄姿)

「監督として東洋大学の柏原君のようなスター選手はどう見えるのでしょうか。」

「素直に羨ましいものです。ウチにもひとりいれば助かりますよ(笑)いまはスカウトに関して難しい面が2つあります。ひとつは陸上全体のレベルが上がってきて、誰が大学で伸びるかわからなくなっています。柏原君も高校時代は持ちタイムこそ一番だったけど、実績という実績はありませんでした。もうひとつは、いまや駅伝は大学を上げての一大事業となったことです。強豪校は授業料免除から就職支援まで優遇して、才能ある選手を獲得することにも力を入れています。優勝すれば大学に大きな利益をもたらすことに他の大学は気づいたんですね。」

「熾烈なスカウト合戦ですね。」

「すごいです(笑)ちよつと愚痴になってしまいますが、青学もあともう一步のレベルアップをして、優勝をするためにも大学をあげた支援を陸上競技部にももらえたらうれしいです(笑)」

「来年の箱根のライバルはズバリ…」

「前回5位という結果をとって、最近では相手チームというより、自分自身に意識を高く維持できるかです。それは選手監督含め実力を慢心せずに、いかに一枚岩になれるかということです。ちよつと強くなり知名度も上がると周りから差し入れや取材など今までなかった期待を受けて、いつの間にか強いような気持ちになってしまいます。慢心ですね。これが今まだ克服仕切れていないと思います。ライバルは自分自身ですね。」



(今年完成した町田素に飾ってある「己に克つ」の宮島の杓子)

「現在の順位予想は…」

「今現在なら15・16位がいいところだと思います。シード権はとりましたけど、優勝するため、勝つための意識の土壌作りは始まったばかりです。10月に皆さんとお会いするときには、また予想は変わっていると思います。期待しててください(笑)箱根まであと半年の間に合宿もするしレギュラー争いも熾烈になります、チームが変化するには十分な時間です。」

「最後に陸上の魅力を教えてください。」

「陸上は身体が主役だけあつて、箱根に出ている選手の身体はみな彫刻のように綺麗です。身体をひとつの芸術作品として仕上げられる。裸一貫で走るスポーツだからこそ滲み出てくるパワーのようなものが感じられます。よく競馬の世界で毛並みが良いなんて言われますけど、それに近い美しさがあります。端から見るとただ走っているだけの駅伝ですが、毎年のように皆さんが楽しみにしてくれるのは、そういう美しさがあるからでしょう。箱根駅伝を通して校友の皆さんがひとつになれる、そのお手伝いができればと思っています。」

「ありがとうございます。来年の箱根駅伝を楽しみにしています。」

キャンパス紹介

新校舎完成
17号館



昨年3月の大震災により竣工が少し遅れましたが、本年無事17号館が完成し、4月26日献堂式が行われました。この新校舎の基本コンセプトは「台地となっている青山には東京湾からの卓越風が自然に流れている。それをできるだけ取り込んだ」こと。そして特徴的なのは各フロアにある学生ラウンジ。「講義の合間でも勉強や食事ができるようなスペースを至るところに設けたことだそうです。関東大震災クラスの地震にも耐えられるよう設計されており、快適な学生生活が満喫できる青山キャンパスの新しい顔になることでしょう。



活動報告

【フォーラム21】

「フォーラム21」は毎年その時々話題となったホットピックを厳選し、勉強会と懇談会を開いております。下記は最近3回の内容です。どなたでも参加できますのでご希望の方は福田 収までご連絡ください。

- 『欧州危機の行方—どうなる日本』
(文教大学 西村信彦教授)
- 『女性宮家創設・女性天皇問題と知られざるプリンセスたちの素顔』
(皇室記者 近重幸哉さん)
- 『イスラム国家素晴らしきスライド映写』
(青山学院OB 天野恵利さん)

集英社サービス(株) 福田 収
fukuda431209@gmail.com

【若手社員交流会】

7月27日、表参道にてマスコミ界で活躍する青学OBOGたちによる交流会を行いました。当日は40名ほどの参加となり、そのほとんどがマスコミ青山会へ初参加の方々でした。状況変化の激しいマスコミ業界において、放送・新聞などのマスメディアはもちろん、検索やソーシャルメディアなどのネット関連企業、そして広告から制作・PR・イベント会社などの多彩な参加者との出会いは、かならず大きな財産となります。今後も定期的開催いたしますので、ぜひ皆様もご参加ください。

■問い合わせ 中村全信(masanobunakamura1978@gmail.com)

【マスコミQ&A】

今年で10回目を迎えるマスコミ業界を志望する学生のためのイベントです。

■日時 10月10日(水) 18:00~

■会場 青山キャンパス

■内容 新聞・雑誌・放送・広告・IT業界で活躍するOBによる業界説明と就職活動対策。2013年度マスコミ界内定者の学生も参加します。

■問い合わせ 中村全信(masanobunakamura1978@gmail.com)



祝ペギー葉山さん歌手生活60周年

マスコミ青山会の副会長でもあったペギー葉山さんが、今年歌手生活60周年を迎えました。60年という長い間、私たちを楽しませていただいたペギーさんに心から感謝と敬意を表したいと思います。これからもますますお元気でご活躍をお祈りいたします。

10月27日(土) マスコミ青山会総会開催!



マスコミ青山会総会の日程が決まりました。例年通り土曜日の開催です。総会後の講演では、箱根駅伝で母校を上位校まで引き上げた陸上競技部原晋監督をお招きしてお話を伺う予定です。

講演 原晋氏 (青学大陸上競技部 長距離ブロック監督)

『箱根駅伝に賭ける青学大の雄姿』 (裸一貫の走りに捧げる情熱と箱根) (仮題)



<略歴>

1967年広島県出身。世羅高校3年時に主将として全国高校駅伝2位。その後中京大学、中国電力と陸上選手と歩み27歳で引退。2004年青山学院大学陸上競技部、長距離ブロック監督に就任。2009年には青学を33年ぶりの箱根駅伝に導く。2012年には過去最高の総合5位に入賞。

開催概要

- 日時 12年10月27日(土) 16:20~20:30 (開場 16:00)
- 場所 ①総会・講演会(アイビーホール青学会館 3階「アロン」)
②懇親会(アイビーホール青学会館 3階「ナルド」)
- 会費 7,000円(年会費2,000円+懇親会費5,000円・学生の懇親会参加費5,000円)
- 内容 ①総会・講演会 16:20~18:00 (会場 アイビーホール青学会館3階「アロン」)
②懇親会 18:30~20:30 (会場 アイビーホール青学会館3階「ナルド」)

- (※)お申込み ①FAXは同封の総会案内裏面に必要事項を記入後
03-5724-4945 (マスコミ青山会事務局)まで
②Eメールは、info@mc-aoyama.netまで 締め切り 10月10日(水)
③年会費&懇親会費のお振込み ... 三菱東京UFJ銀行 築地支店(普) 0111738
マスコミ青山会 事務局長 武藤靖人(トウヤスト)

マスコミ業界就職データ

青山学院大学
マスコミ業界就職状況
全150名(2012年4月現在)

業界別	
【新聞・出版・印刷】	46名
【放送・通信】	21名
【インターネット】	19名
【広告・制作】	64名
合計	150名



安藤前会長 理事長に就任

今年四月、マスコミ青山会の前会長 安藤孝四郎氏が第17代理事長に就任されました。謹んでご祝福申し上げます。
これに伴い、マスコミ青山会会長職は辞任され、現在村井事務局長が会長代行として勤めております。新会長は10月に行われる総会において選出される予定です。

マスコミ青山会のホームページが新しくなりました。
<http://www.mc-aoyama.net>

ロンドンからオリンピック過去最多のメダルを持ち帰ったアスリートたちを眺める日々が終わり、その後訪れた暑さは近年では稀にみるものでした。厳しい猛暑の中、節電が警報と共に叫ばれなかったのは、震災から国民・企業が徹底してきた日々々の心掛けの成果と言えるのではないのでしょうか。そんな今年の夏の終わりと共に、この会報も無事に入稿となりました。
最後までのご精読に感謝いたします。そして関わってくださった皆様に改めて御礼を申し上げます。

(編集担当 鈴木章・長田拓也)
(e-mail info@mc-aoyama.net)